

29. 栄町こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）6 月 14 日（火）18 時 30 分～

○場 所：栄町こども園

質問・意見等	豊中市からの回答
今回の説明では、案が二つ示されているが、どちらかに必ずなってしまうのか。	教育委員会としては、小規模校の課題、分割校の課題、庄内地域特有の課題を、「魅力ある学校」づくり、具体的には学校再編、小中一貫校の整備等によって解決したいという思いから、構想案を作成し、地域や保護者の皆様にご説明をしています。案としては、施設一体型小中一貫校と施設分離型小中一貫校の二つをお示ししていますが、それぞれにメリット、デメリットがあります。これまでの説明会で様々なご意見やご質問をいただいております。その内容も含めて今後検討し、どちらかの案に絞っていきたいと考えています。この「魅力ある学校」づくり構想は、現在お示ししている案やスケジュールありきで進めているものではなく、地域や保護者の皆様からご意見をいただき、内容を練っていくべきものと考えています。
新しい学校になった場合、人数が増え、学校も大きくなる。キャパオーバーになり、放課後こどもクラブに何か制限が発生するのではないのか。	放課後こどもクラブは市の施策です。今回の再編で確かに学校の規模は大きくなりますが、子どもの数でいうと、再編後の学校よりも児童数の多い小学校は今でも存在します。今回の再編にともなって放課後こどもクラブがどうなるのか、という話は議論で出てきていません。現時点においては、現行の制度が継承されると認識しています。
校区再編によって通学距離が長くなる場合、自転車での通学は許可されるのか。	現在、自転車通学を一部の生徒に許可している中学校は一校だけです。通学距離を考えれば学校再編後の自転車通学について、検討の余地があるかもしれません。しかし、通学時の安全等を考えなければなりません。構想案をお示ししている段階なので、自転車通学は今後の検討事項ですが、今回の再編で極端に通学距離が延びるわけではありませんので、安全面を考えると実現は難しいと思われます。
スクールバスは出せないのか。	文部科学省は小学校の通学区域の登校距離の目安を 4km 以内とお示しています。能勢町でこの春から開校した学校では 3km 以上離れていればスクールバスを利用可という規定を定めています。スクールバスを利用すると、子どもが運動不足になる、というご指摘もあります。今回の学校再編によって通学距離が 3km を超えることはありません。現段階では、スクールバスを出す検討はしていません。
構想案は既存の校舎を改築するのか、建て替えるのか、どちらなのか。	現時点では何も決まっていますが、躯体自体の老朽化やバリアフリー、より効果的な教育活動の実践等を勘案して、全体的に建て替える必要があると考えています。

私は千成小校区なので今回の再編でそう遠くにはならないが、庄内西小校区の子どもは、通学距離がかなり長くなるのではないか。本当に大丈夫か。	庄内西小校区の子どもの通学距離は、仮開校の際、庄内南小学校へ通う場合は最長距離で約 1.3km、開校後、千成小学校へ通う場合は最長距離で約 1.6km と想定しています。現在の各学校の通学路については安全面の検討が定期的にされていますが、学校再編によって新たに通る経路の安全確保が必要となります。現段階ですべての経路の検討はできていませんが、例えば庄内西小学校から庄内南小学校、千成小学校に通うとなると、阪急の線路を渡る必要があり、どの踏切や経路で行くのか、それぞれにどのような課題があるのか等を検討しています。まだこの構想案も決定事項ではないので具体的に検討できないところもあります。案が決まり、計画も定まれば具体的に考える時期がきます。その段階で新しい学校の通学路を検討することになります。
小さい子を持つ保護者としては、中 1 ギャップよりも小 1 の壁を心配している。特に通学は、体力面、安全面ともに心配である。そこで提案だが、例えば、地域の年配の方々に通学時付添してもらえようサービスを作ってもらえないか。集団登校時だけではなく、複数人のグループにでも、依頼すれば年配の人が一人、付き添ってもらえようなくみがあれば心強い。ボランティアもいいが、仕事としてやっていただくということで有料でもいい。そのような仕組みがあればみんな利用するのではないか。	児童数人のグループにも、地域の方が付き添う仕組みのご意見に感謝いたします。持ち帰って検討します。
私が普通通っていた福井県の小学校では毎日集団登校をしていた。集団登校によって、高学年は低学年の世話をする等、様々な教育効果もある。新しい学校では、通学の不安があるので、毎日集団登校してもらえないか。	現在、庄内地域 6 小学校のうち、集団登校を実施しているのは 4 校です。新しい学校で集団登校を含めた登下校時の安全確保については、もう少し先の段階で検討することになります。毎日の集団登校についてのご要望があったことはご意見として承ります。
学校の跡地はどうするのか。マンションが建つこともあるのか。	跡地については、地域コミュニティ、防災、地域の活性化等、様々な観点での検討が必要です。もちろん跡地によってはそのような利用をするところもあるかもしれませんが、これは教育委員会だけで考えられるものではありません。関係部局等と連携して検討していきたいと考えています。